

2012
第39号

8万

(須賀川市人口78,059人 2月1日現在)
[前年同月比 △1,058人]



中尊寺金色堂標柱

現在の石製標柱は原物を忠実に模写したもの



標柱原物

張堂寂俊氏が墨書した木製標柱
(大正12年から昭和43年まで建立されていたもの)



妙林寺本堂

加治町にある妙林寺

世界遺産「中尊寺金色堂」標柱の筆者は本市出身の張堂寂俊氏
昨年、世界文化遺産に「平泉」が登録されましたが、この中の
「中尊寺金色堂」入口に建つ石柱の文字の筆者が本市出身の方で
あることをご存じだったでしょうか。

これを書いたのは、明治31年に市内加治町にある妙林寺の住職
となり、のちに比叡山に入り入木道という書法を受け継いだ、張
堂寂俊氏（号を龍禅子または大龍、昭和22年没）です。彼は福島
県の生んだ偉大な書家であり、禅僧でもありました。

書に向かうにあたっては、水のように、雲のように、欲をすて、
理屈をやめ、無心になるとの彼の心構えは、復興への道を歩む私
たちにも大いなる教訓となっています。

(参考文献 福島県教育委員会編集「うつくしま電子辞典」)
※議会広報委員会有志で、取材のため厳冬の平泉を自費で訪ねました。



妙林寺石柱

妙林寺境内にある標柱（複製）

お宝発見！ すかがわ探訪

平成22年度の決算審査を終えて

市民の皆様が、適正かつ効率的に使われているかをチェック

決算特別委員会は、平成22年度の一般会計ほか全ての会計決算について、10月20日、21日、24日の3日間審査を行いました。

本委員会は、市民の立場から「市民の税金」が適正かつ効率的に使われているか、厳しくチェックする重要な審査機関になっていますが、より一層、市民福祉と市民サービスの向上に努めるよう提言を行うなど、その機能を果たしています。

さらには、市民の要望・意見などに応えているか、将来負担を求めない「財政の健全化」に取り組んでいるかなど、活発な質疑・提言などがなされました。

決算審査で出された意見や課題を整理し、新年度予算に反映できるように当局に申し入れを行い、3日間にわたる委員会での審査の結果、全会一致で決算を承認し、定例会最終日に本会議において決算認定の議決を行いました。

各委員から出された意見は次のとおりです。



決算特別委員会の様子

決算審査にかかる意見など

歳入

●市民税の滞納対策
滞納対策については、分納による計画的な納付など、個々のケースに応じた適切に対応を願いたい。

●歳出
滞納処分についても、市民に公平・公正な納税感をもたれるよう的確な努力を願いたい。

歳入

●人件費
近年の市職員の削減及び震災後の職員の配置が市民へのサービス提供にどのように影響してきているのか、財政面からばかりではない検証を願いたい。

●防災情報の発信に関する広報のあり方
市と嘱託員との連携が更に深められるよう努めていただきたい。

災害時の様々な防災情報の提供については、紙媒体での広報だけでなく、広報車を使用して行う。また、難聴者も聞き取りやすい防災情報の発信に努めていただきたい。

敬老会

●敬老会
「主要な施策の成果についての報告書」の中の「敬老会出席者」の人数には、受付のみの人数も計上され

ていて紛らわしいことから、実態に合った表現をされるようお願いしたい。

またアトラクションの開催にあたっては、会場を一本化して内容の充実に努めるなど、予算を有効に活用し、より魅力的な演出の工夫を検討願いたい。

保育所への入所

●保育所への入所
保育所への入所希望者が年度途中では入所にくい状況が続いていることから、そうしたニーズへの対応にも努めていただきたい。

放課後児童対策事業

●放課後児童対策事業
定員を超過している児童クラブの解消や4年生以上の児童クラブ利用希望者のニーズに対応できるよう、受入れ側の施設整備に努めていただきたい。

生活保護被保護者の就労支援

●生活保護被保護者の就労支援
生活保護の被保護者が自立に向けた活動ができるよう、福祉の面からもしっかりと就業支援を願いたい。

訪問指導事業費及び女性特有のがん検診推進事業費

●訪問指導事業費及び女性特有のがん検診推進事業費
訪問指導事業の推進のため、しっかりと人員配置を願いたい。

女性特有のがん検診推進事業を行ううえで、医師会と連携を図り、受入れできる病院側の体制作りにも努めていただきたい。

● **母子保健事業費**

母子への放射能の影響に関する不安解消のため、きめ細かな相談に応じられるよう、しっかりとした予算確保と人員配置を願いたい。

● **子宮頸がん予防ワクチン接種事業費**

予防ワクチン接種については学校教育課と連携し、学校における普及啓蒙活動にも力を入れていただきたい。

● **就労支援事業費**

就労支援事業により支援を受けた人がしっかりと就労に結びついていくのか、次につなげていくためにも追跡調査を実施すべきである。

● **集落営農支援事業費**

将来のコメ作りを見据え、集落営農組織や担い手の育成につながるよう、予算の確保や情報の提供をしっかりと行っていただきたい。

● **農道整備事業費**

東部地区では農道は子どもの通学路としても利用されており、整備が進めば子どもの安全・安心にもつながることから、力を入れて整備願いたい。

● **木造住宅耐震診断派遣業務委託料**

震災により、民間の木造住宅への耐震診断の要望は増えてくると思われることから、予算の確保に努めていただきたい。

● **道路新設改良費の社会資本整備総合交付金事業費**

社会資本整備総合交付金は市町村の要望に応じて様々なものに使えるところと聞いています。事業計画を立てて予算確保のために努力を願いたい。

● **非常備消防**

今回の災害を通じて消防団の活動の重要性がますます高まったところである。消防団員の人数が十分確保されるよう、報酬や待遇の改善を図るとともに啓蒙活動にも努めていただきたい。

● **特別支援教育推進事業費**

勤務形態、雇用の充実、人員の適正配置に向けて更なる努力をしていただきたい。

● **学校適応指導事業費**

震災を踏まえて、人員の拡充を含めより充実した体制をとっていただきたい。

● **学校保健安全対策事業**

AEDを運動場所へ設置されるよう検討願いたい。

● **要保護・準要保護児童就学援助費**

震災も踏まえ、制度の周知徹底に努め、適切に支援していただきたい。

● **柏城小太陽光発電設備設置事業費**

今後効果を検証しながら、各学校への拡大の方向で検討願いたい。公共事業の果たす役割を認識し、地元企業を育成する面からも事業推進に努めていただきたい。

● **幼稚園運営管理費**

働く保護者のニーズに応えられる

ように願いたい。

● **子ども読み聞かせ講座経費**

ボランティアの方の待遇改善を願いたい。

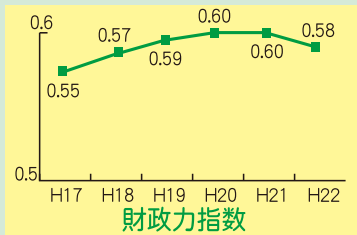
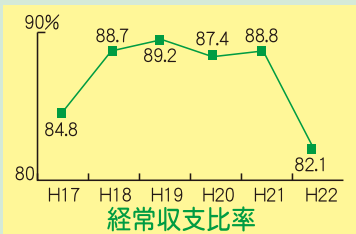
● **読書活動推進事業費**

乳幼児検診と絵本でふれ愛事業をしっかりと分けて実施していただきたい。

● **国民健康保険特別会計**

加入者の実態調査により、生活状況を把握したうえで、事業運営していただきたい。

主な
財政指標



経常収支比率

財政構造の弾力性を表す指標で、経常経費にあてたものの割合。90%を超えないのが望ましい。

実質公債費比率

標準財政規模に対する公営企業などへの繰出しなどを含めた実質的な公債費にあてたものの割合。この比率が高いほど財政硬直化の要因となる。

財政力指数

財政力の強さを示す指標。この数値が[1]に近いほど財源に余裕があると言われている。

一般会計決算額

歳入額	301億9,761万円	歳出額	289億3,215万円
-----	-------------	-----	-------------

会派の活動報告

次の4つは、正式な会派(3人以上)として認められてる会派です。

志政会

会派10名により、改選以降の本市の復旧・復興の進捗に対し、市民の声を生かすべく、当局へそれぞれ要望・提言しています。

先日、本市の懸案である農産物・工業製品及び観光業において、風評被害を被り大きな問題になっていることから、熊本県水俣市・長崎県長崎市及び長崎大学を訪れ調査してきました。

両市とも、公害病としての水俣病問題や原爆投下による被災地の放射能における影響の問題について、地域内外から差別・偏見を受け、多くの方々が長きに渡り苦しんでいました。風評被害の一種であります。当時は、経済成長優先そして、地域の復旧・復興を優先した時期でもあり、解決へは相当の時間を費やしていた事実を学んできました。

私たちは、調査してきた内容を分析し、本市におけるこの風評被害の解決に向けた取り組みについては、早急に進め国県に対し支援策を求めていきます。

また、長崎市及び長崎大学にお



水俣市での調査

いては、原発事故による放射能の影響とその克服について調べてきました。特に感じたことは、将来の不安を解決するために、日頃から正しい情報を確認し、正しい行動を身に付けることで、行政においては、現在モニタリングされている空間線量の測定数値を集計し、将来の資料として整理しておくよう要請していきます。

今後も、議員活動を通して市民の安全・安心に向けた取り組みを進めていくとともに、会報を発行していきます。

新政会

3月11日の東日本大震災そして東京電力福島原発事故後、暮らしに安心・安全と復興・発展する、すかがわの創造を求めて「今できること」「今やらなければならぬこと」を市民の皆様と共に考えていくため、放射能の正しい知識と地域医療に理解を深めることを目的に、公立岩瀬病院の三浦純一院長を講師に、「2012年の放射線被ばく対策と私たちの生活」をテーマに公開講座を開催しました。講演後、50名の参加者と放射能は五感で感じないことから、恐怖心はあるが、無駄な被ばくはしない、させない、過剰に心配しない、などに関して意見交換をしました。

市内の事業者においても受けた被害は計りしれません。事業者が一日も早く従来の活気を取りもどすことが出来るよう支援策として、法人市民税の減免について取り上げ、要望しました。

また、被災した中小企業において営業が継続できるお手伝いと



市民公開講座

て、福島県中小企業等グループ施設等復旧整備事業においても調査研究を重ね、取り組みの提案をし、市内28事業所が現在補助事業に取り組んでいます。

さらに、藤沼湖の復興の見通しと、決壊による被災者の生活再建に向けた支援などの対応についても、江花川沿岸土地改良区への働きかけ、関係機関への要望活動など行ってきました。今後も決壊による被災者や、コメの作付けが出来る農家の立場を踏まえ対応していきます。

誠心クラブ

昨年9月の須賀川市議会議員改選にあたり、新人議員2人を含め4人の議員が集い、新たな会派として「誠心クラブ」が誕生しました。

3・11の東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能汚染、9月には台風15号による水害と大災害に直面し、その早期復旧・復興へ向けて努めています。多くの問題、課題も山積しています。

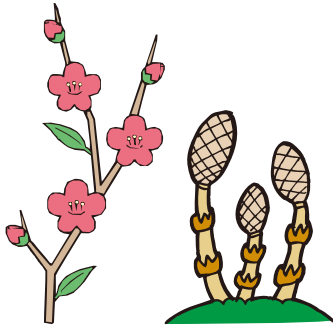
様々な諸問題を解決し、将来にわたって持続可能な地域にしておくためには、市民の皆様から寄せられた声を真摯に受け止め、市政に反映させていくことが不可欠であり、市民生活の安全、安心を第一として復興に全力を挙げて取り組んでいく所存です。

また社会状況がめまぐるしく変化する現状を踏まえ、変えるべきところは変えていくというスタンスに立ち、改革を推進することも



市長、教育長に要望書を提出

に、各議員の政策実現へ向けて会派内で議論を重ね、市民のための提案、提言をしていきます。



市民連合

私たちの会派は、働く人々の立場やお年寄りや子供など、社会的弱者のための市政を目指しています。

活動は3・11大震災からの復旧・復興、そして原発事故の放射線対策を重点に、これまで以上の須賀川市をつくるために要望、質問、市民への報告など積極的に取り組んでいます。

予算編成に関する要望書は毎年、地域住民や労働組合などの団体と協議をして作成し市長、教育長に提出していますが、今回の要望書は、震災復旧・復興を中心とした37項目の要望書を昨年10月26日に提出しました。

一般質問は、昨年9月議会は3人、12月議会は2人と、毎回だれかが質問することになっています。事前に会派会議を開催し、質問者を決め、質問事項について全員で意見を出し合い、会派内での質問を重複しないようにしています。

この3月議会でも、市民の代表として質問を行います。

会派会議は会派代表者会議や議会運営委員会などの後には必ず開催します。会派室で行っていましたが、震災で部屋がなくなり、今は岩瀬支所の委員会室や喫茶店、食堂などで開催しています。

これらの活動については「議会報告」を毎年2回、市民連合として発行し報告しています。



市庁舎建設について阿南市で研修

次の3つは、政務調査費支給に限って認めている会派です。

日本共産党 須賀川市議団

東日本大震災から一年を迎えます。放射能汚染から市民を守る施策を一刻も早く前進させ、避難した多くの子どもたちや若い人たちが福島県内に戻れるよう、真の復興を実現させるためには、原発事故の責任と費用を国と東電が負担し、地域任せでなく県と市、住民が協力し合うことが必要です。

共産党市議団は2月3日市長に「2012年度要望書」(重点施策12項目、個別要望16項目)を提出しました。

「急げ除染、しっかり賠償、原発ゼロ」は、市民の願いで、「住み続けることのできる福島・須賀川」は、喫緊の課題です。

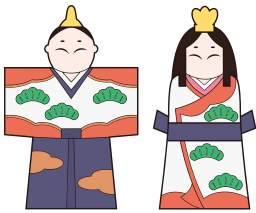
また貧困と格差の解消、震災被災者支援に「自己責任」や「自助」を強調し、国や行政の役割を放棄することを許してはなりません。

「復興財源」や「社会保障財源」を所得税と消費税増税で賄う計画は、日本の経済と財政を悪化させるので断固反対します。「市民が主人公」で今年もがんばります。

洗心

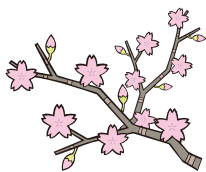
昨年は、東日本大震災、東京電力福島第一原発事故による放射能汚染、台風15号による水害と、本市にとっては過去に例のない大災害の一年であり、これらの復旧をはじめとした対応に追われた一年でもありました。

このような中で新しい年を迎えたわけですが、昨年同様に災害からの復旧、将来に向けた復興に一日でも早く前進できるように「市民第一」の政治姿勢を基に、市民の皆様が将来に希望をつなぐことができる一年にするため、精一杯取り組んでいきます。



市政花の会

私はこのたびの東日本大震災により、痛切に感じていることは、「人と人」「地域と地域」そして、「ここるところとここるところ」の結びつきがなによりも大切なのだということです。繁栄は郷土愛からのもと、健全な財政、高齢化と少子化対策には充実した福祉、地域の防災対策を推進する地域の活性化、安心安全な農作物を家庭にとどけられる魅力ある農業、情操教育の導入で元気な「すかがわを再生」しましょう。女性だからこそ見えるものが、たくさんあります。



会派別所属議員名簿

○印は代表者

会派名	代表者	所属議員名
市政花の会	○	川田 伍子
洗心	○	森 新男
日本共産党 須賀川市議団	○	橋本 健二 丸本由美子
市民連合	○	鈴木 正勝
誠心クラブ	○	菊地 忠男 大倉 雅志 水野 敏夫 石堂 正章
新政会	○	八木沼 久夫 車田 憲三 渡辺 忠次 鈴木 忠夫 加藤 和記 市村 喜雄
志政会	○	生田 目進 安藤 聡 本田 勝善 大寺 正晃 関根 保良 五十嵐 伸 塩田 邦平 佐藤 瞭二 大内 康司 高橋 秀勝 広瀬 吉彦



3月定例会のお知らせ

会期運営予定表

月 日	会 議 の 内 容
3月1日(木) (ライブ中継)	本 会 議
	会 期 の 決 定
	会議録署名議員の指名
2日(金)	全議案一括上程
	議 案 調 査
3日(土)	休 会
4日(日)	休 会
5日(月)	議 案 調 査
6日(火) (ライブ中継)	本 会 議
	一 般 質 問
7日(水) (ライブ中継)	本 会 議
	一 般 質 問
8日(木) (ライブ中継)	本 会 議
	一 般 質 問
	議案に対する総括質疑 議員提出議案/意見書案/決議案の提案と質疑 議案、請願の委員会付託
9日(金)	委 員 会
	総務常任委員会
10日(土)	休 会
11日(日)	休 会
12日(月)	委 員 会
	建設水道常任委員会
13日(火)	中学校卒業式のため休会
14日(水)	委 員 会
	生活産業常任委員会
15日(木)	委 員 会
	教育福祉常任委員会
16日(金)	委 員 会
	予 算 委 員 会
17日(土)	休 会
18日(日)	休 会
19日(月)	委 員 会
	予 算 委 員 会
20日(火)	春分の日のため休会
21日(水)	委 員 会
	予 算 委 員 会
22日(木) (ライブ中継)	本 会 議
	委員会付託議案(委員長報告)の質疑と採決
	議員提出議案/意見書案/決議案の質疑と採決
	請願(委員長報告)の質疑と採決 継続調査事件の申し出(委員長報告)

ここで正式に会期が決定します。

市長と副市長、または議員から提案理由などの説明があります。

各議員から、市政全般の中で特に聞きたい部分について、当局に対して質問を行います。

初日に一括上程された議案について、質疑を行います。

各常任委員会では、本会議で付託された議案や請願の審査を行います。

各常任委員会での審査報告と採決を行います。

提出案件

3月定例会に提出される主な案件は次のとおりです。

○単行議案

- ・平成23年東日本大震災による被災者に対する市民税、固定資産税、都市計画税及び国民健康保険税の減免等に関する条例の一部を改正する条例
- ・県中都市計画事業諏訪町土地区画整理事業施行規程及び県中都市計画事業諏訪町土地区画整理事業特別会計条例を廃止する条例
- ・須賀川市教育研修センター条例

○予算

- ・平成23年度須賀川市一般会計補正予算(第8号)
- ・平成24年度須賀川市一般会計予算
- ・平成24年度須賀川市県中都市計画事業須賀川駅前土地区画整理事業特別会計予算

○報告

- ・専決処分報告について
- ・財団法人須賀川市農業開発公社の平成24年度事業計画及び収支予算について

議会傍聴してみませんか

須賀川市議会では、震災により市役所本庁舎が被災したため、岩瀬支所3階に移転いたしました。

議場でのディスプレイによる映像表示とマイクセットが一新されましたので、ぜひ議場にお出かけください。

議会はいずれも午前10時からの開会を予定しています。

本会議のライブ中継と一般質問の通告内容、過去の会議録などは、市のホームページでご覧いただけます。

(<http://www.city.sukagawa.fukushima.jp>)

詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。 ☎ 65-2409

※日程は、都合により変更になる場合もあります。

圓谷年雄議員に対する 議員辞職勧告決議（二度目）

これまでの経緯

平成23年10月19日 道路交通法違反（酒酔い運転）の疑いで逮捕

10月26日 9月定例会で、圓谷年雄議員を除く出席議員全員の賛成により圓谷年雄議員に対する議員辞職勧告決議案を可決

（一度目）

12月1日 12月定例会で、圓谷年雄議員を除く出席議員全員の賛成により圓谷年雄議員に対する議員辞職勧告決議案を可決

（二度目）

平成24年1月16日 福島地方裁判所郡山支部で懲役1年執行猶予3年の判決
1月30日 控訴期限経過により刑が確定

2月9日 臨時会で、圓谷年雄議員を除く出席議員全員の賛成により圓谷年雄議員に対する議員辞職勧告決議案を可決

（三度目）

市議会の対応

圓谷年雄議員の行為は、刑（罰）の軽重ではなく、飲酒運転をしたことそのものが紛れもない事実であり、市民の負託を受けた議員としては絶対に許されない背信行為であります。

責任の重さを自覚し、自らの意思により一日も早く議員を辞職すべきであります。万が一これに応じない場合には、辞職に応じるまで市議会として議員辞職勧告決議を行い続けるなど、毅然とした態度で臨んで参ります。

須賀川市議会議長 鈴木忠夫

編集後記

月日が過ぎるのは早いもので、平成24年も2か月が過ぎ春の息吹が感じられる季節になりました。昨年の甚大な被害を受けた東日本大震災、その後の東京電力による原発被害からもうすぐ一年、そして9月の台風被害と非常に被害の多い年でありました。

本号では、平成22年度の決算審査と会派活動をお知らせしました。会派活動は、行政視察や研修などを行い、先進地の事例などを踏まえ行政に反映させ、市政発展と災害からの早期復興のため議員一丸となって取り組んでいます。

また、本号表紙では、本市が生んだ偉人を紹介したいとの議会広報委員の強い思いがあり、2月の肌を刺すような寒さの中、有志一同で平泉まで一日がかりで取材に出かけてきました。

今年「復興元年」の年と言われています。早期復興には、行政、議会、市民の皆様が一つになって取り組まなければならない年です。それを揺るがす出来事が現在起きており、市民の皆様の間から市議会への不信感が渦巻き始めています。

議員辞職勧告を出されている圓谷議員には、この勧告を早急に受け止めていただき、早期に正常な議会運営をしていけることを望んでいます。



議会広報委員会
委員長 五十嵐 伸